

地域に  
開かれた  
学校  
づくりを!

# 学校開放だより

高槻市学校開放運営協議会

第66号

発行責任者  
相見育子

## 第23回学校開放スポーツ交流会 (第9回ドッチビー大会)



第1ブロック優勝  
高槻小・阿武山小

第2ブロック優勝  
芥川小・如是小

第3ブロック優勝  
芝生小・玉川小・日吉台小

第4ブロック優勝  
赤大路小・安岡寺小

参加校 36校  
参加者 288人  
スタッフ 20人

コート	チーム名	開放運営委員会名	コート	チーム名	開放運営委員会名
第1ブロック	紺色	高槻小	第3ブロック	紺色	芝生小
	黄色	阿武山小		黄色	玉川小・日吉台小
	紫色	清水小・富田小		紫色	西大冠小
	水色	安岡寺小1		水色	松原小
第2ブロック	桃色	阿武野小	第4ブロック	桃色	上牧小
	赤色	南平台小		赤色	若松小
	緑色	桃園小		緑色	北清水小
	青色	三箇牧小		青色	奥坂小
	オレンジ	川西小		オレンジ	赤大路小
		津之江小			安岡寺小2
		大冠小			柱本小
		竹の内小			五百住小
	北大冠小		北日吉台小		
	土室小		真上小		
	芥川小		磐手小		
	如是小		丸橋小		
	五領小		冠小		
	桜台小1		桜台小		

第9回ドッチビー大会 チーム組み合わせ

主催 高槻市学校開放運営協議会  
後援 高槻市

● 総合スポーツセンター  
総合体育館 大体育室

● 平成31年2月9日(土)  
午前9時30分〜12時30分

### 第23回学校開放スポーツ交流会

スポーツ交流会(ドッチビー大会)に参加して

普通はなかなか関わることのない、他の地区の方とチームを組むことで、より親睦が深まる素敵なひと時でした。またスポーツとは人と人とを繋ぐものだ改めて感じることができました。有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

初めての参加でしたが、チームの方々と交流できて、とても楽しめました。試合が始まると熱い戦いになり、本気になってしまいました。最初2試合負けちゃいました。最終戦は、皆で勝ちたいと必死になり、声を掛け合って勝つことができました。とてもいい交流になったと思います。ありがとうございました。

初めは、ディスクが思うように飛ばず悪戦苦闘、でもすぐに慣れ「外野にバスター当てろ」とは、軽やかに逃げる一戦で見事優勝することが出来ました。他のチームの方々と交流もでき、楽しい時間でした。大会の運営をしていただきました開放運営委員会の方々、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



五百住小学校では年3回子ども達とドッチビーを行っています。楽しく遊べる企画ですが、普段からドッチビーに触

参加者コメント

れているため、楽しみながら優勝できました。今後もスポーツを通して地域の健康に貢献いたします。

2つのフリスビーが、行き交う中、初めは思うところに飛ばなかったり、すぐに当てられたりしましたが、体を動かしているうちにナイスプレーも出て大盛り上がりでした。

勝利を目指してみんなの頑張る姿に素敵なチームワークが生まれ、とても楽しませていただきました。

学校開放スポーツ交流会(ドッチビー大会)に富田小・清水小・安岡寺小の合同チームとして参加させていただきました。当日の体育館は、少し肌寒い感じがしましたが、いざ、試合が始まると、掛け声をかけながら勝利を目指し、みんなが一つになっていく感じがあり、久しぶりに年齢を忘れていい汗をかいている自分がいました。試合の結果は、おいといて老若男女が、一緒に楽しめるドッチビーは最高でした。最後に、大会を運営された関係者の方々にはこのような機会をいただき厚く御礼申し上げます。

ドッチビー大会では大変お世話になりました。初めてドッチビーでしたが、他の団体の方とも交流でき、とても楽しく参加させていただきました。手軽で楽しいうつなので、とてもよいスポーツだと思いました。参加させていただきありがとうございました。

救命講習会

12月15日(土) 午後1時30分～4時30分

中消防署

26校32人

参加者コメント

AEDの使い方は難しいと思っていましたが、丁寧にご指導をして頂き、音声案内がある事を知った事で、いざという時に救助する勇気が持てたと思います。参加して良かったです。

平成30年12月に、中消防署にて救命講習を受講しました。大事なことは、倒れている人が、呼吸をしていなければ、周りの人に声を掛け、救急車を呼ぶこと、呼吸を再開するか救急車がくるまで、心臓マッサージと人工呼吸を続けること。けつこう力と持続性が要りますので、周りの人に手伝ってもらうことが必要だと実感しました。万一自分が遭遇した場合は、少しでも協力したいと感じました。皆さんも是非一度は体験されることをお勧め致します。

初めての参加でした。人形を使った人工呼吸の実演。AEDの操作。参加者全員の実技で、「もしも」を想定して取り組みました。事故は突然起こるもの。その事態にどれだけ自分が対応出来るかわかりませんが、研修を受ける前とは意識の持ち方が変わった気がしました。

第27回高槻シティハーフマラソンへの協力

1月20日(日) 午後2時～3時30分

主催 高槻シティハーフマラソン実行委員会  
後援 高槻市・高槻市教育委員会  
担当:ゴールで計測チップの回収係  
協議会役員 幹事委員 12人協力

第64回学校開放研修会

3月23日(土) 午後2時～3時30分  
市民会館南側大会議室(2階) 25校29人

「全ての世代が楽しく暮らせ、子どもが育つ地域づくり」  
学校開放を通してできること」  
講師 野田 忠 司氏

参加者コメント

「ゴールでランナーの皆さんをお迎えしながら、「お疲れ様ですー」「完走おめでとうございます」と声掛けしながら、チップを回収すると「ありがとうございます」と返して下さる言葉にうれしい気持ちになりました。参加出来て良かったです。



参加者コメント

開放委員会にお世話になり、社会体育団体に小学生にバスケを教えています。野田先生の話を聞いて、気づきがありました。わたしは、自分たち指導者だけががんばれば、チームは盛り上がり、と考えていましたが、保護者・地域すらも巻き込んで、みんなで子どもを育てよう！という考え方に、特に感銘をうけました。

外国籍の子どもたちも増え、文化や習慣、考え方も多種多様な時代になってきていますが、それら全部をひくるため、互いに理解しあい、互いにスポーツを楽しむような環境を指導者・保護者・地域・学校みんなで創ってきたいなと思えました。今日はありがとうございました。

国が豊になるにつれて人間関係が希薄になりました。学校開放を通じて人と人とのつながりを広げていくことは大切なことだと思います。